

学校運営協議会 議事録

校名	府立 泉陽高等学校
校長名	栗山 悟

開催日時	令和 5年 11月 9日(木) 15時00分～16時50分
開催場所	本校 同窓会館
出席者(委員)	瓜生 彩子委員 中村 俊一委員 福井 隆一郎委員 増田 大介委員
出席者(学校)	栗山 悟(校長) 荒木 順子(事務局長・教頭) 森 和美(事務長) 境谷 秀一(首席・生徒指導主事) 明山 寛之(首席) 鳥山 祐一(総務部長) 中野 祥利(教務主任) 田中 香織(保健主事) 野口 清隆(進路指導主事) 石橋 義之(ICT部長) 大槻 朋宏(3学年主任) 田辺 恵美(2学年主任) 黒木 悠輔(1学年主任)
傍聴者	なし
協議資料	資料① 令和6年度使用教科書(選定・採択)一覧表 資料② 各校務分掌からの現状報告 資料③ 各学年からの現状報告
備考	

議題等(次第順)	<p>議事に先立ち6限目の授業見学(1学年 総合的な探求の時間(ドイツ大使館職員の講演)/2学年 数学/3学年 生物)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校長挨拶</li> <li>・協議(制服について/生徒の遅刻・欠席について)</li> <li>・学校側報告(学年主任・分掌長)</li> </ul>
----------	--

協議内容・承認事項等(意見の概要)	<p><b>【教科書選定について】</b> ・教科書選定について資料の通り承認いただいた。</p> <p><b>【制服について】</b> ・現代の状況を取り入れた、誰もがより着やすい制服に改定されているのが現在の流れである。制服について生徒がどう思っているのか、困りごとなど生徒達の意見をまず聞くことが大事である。そのうえで方向性を決めていただきたい。 ・女子がスラックスを選択できるようにするのは望ましい事である。その際は、男女とも着用できるユニバーサルデザインにする方向が良いのではないかと。 ・中学校で数年前に制服が改定された際、女子はスラックスの選択肢が可能であったが、男子にはスカートの選択肢はなかった。この点についてはそれでよいのか考える必要がある。 ・本校のセーラー服を気に入っている女子生徒は多いのではないかと。現行のものを残しながら工夫ができないか。男子の学生服は現代においては昔のものというイメージがあると思うので、プレザータイプに変更するのが良いと思う。 ・標準服と自由服という選択肢で上手くいっている他校の例もある。 ・生徒・保護者・同窓会・教員などの意見をよく聞き、丁寧に議論をしていただきたい。</p> <p><b>【遅刻・欠席について】</b> ・学校の欠席日数が増加している傾向は本校だけのものではなく日本全体の傾向である。小学生の不登校や広域通信制高校の在籍者は年々増えている。欠席日数の多い生徒や転学を希望する生徒の状況を丁寧にみることから解決の糸口がみつかると思う。 ・学校とのミスマッチが起因とするなら、受験前に授業や部活動体験などの機会を設けて、高校生活をイメージしやすい状況を作るなどの工夫ができると思う。</p>
-------------------	---

日時	令和 6年 2月8日(木)15:10～
会場	大阪府立泉陽高等学校 同窓会館